

あしっ 育成だより

17

立教 184 年 4 月 26 日発行
編集 / 天理教芦津大教会育成部

- 特集 ①教会長子弟育成者研修会
②春の各会の活動



《親のことば》

これからは道の将来を担う人材を育て、教祖にお使いいただける道具衆として立ち働くようぼくを育てることが急務であります。
(中略) 昔から三つ子の魂百までと言われてるように、子供の時分に習い覚えた言葉や、動作や知識などは年を重ねても忘れないものであります。信仰についても同じようなことが言えると思います。幼いころに身につけた信仰の喜びは素直に心の奥に染みこんでいき、大人になっても忘れにくいと思います。

(立教 179 年「少年会年頭幹部会」における真柱様お言葉より)

①教会長子弟育成者研修会レポート

一人でも多くの若者を 集いに参加させよう！



3月24日、大教会春季霊祭終了後、大教会陽気ホールにおいて、「教会長子弟育成者研修会」を開催しました。

昨年はコロナの影響によって研修会を中止し、代わりに11月に直属育成責任者連絡会という形で、育成活動についてのお願いをしましたが、今年は直属育成責任者、直属育成担当者43名が集まりました。



●次代へ道をつなぐために

4回目となるこの研修会は、すべての教会が、教会に生まれた子弟を道につなぎ、将来へ繋げていく意識を高めるために、毎年3月に開催しています。教祖150年祭、立教200年に、すべての子弟が教会になくしてはならない人材に育つよう、子弟育成の重要性を改めて心に治めていただき、「教会長子弟名簿の更新と活用」について、また本年秋季に開催予定の「道の後継者の集いⅡ」について詳しい説明を行いました。

研修会の冒頭、大教会長様よりお話がありました。大教会長様は眞明組の歴史を繙きながら、信仰が途切れてしまうポイントとして、「御恩を御恩と感ずることができない」「次の代への繋ぎ目」の2点を挙げた上で、改めて子弟育成の重要性を



大教会長様は縦の伝道の重要性について訴えられました

強く訴えられました。そして大教会・本部での行事や活動を有効に利用して、子弟をしっかり丹精するよう促されました。

●名簿更新の徹底

続いて、梶川和人育成部員より、名簿の更新と活用についての説明がありました。

これまで「教会長子弟名簿」は、毎年行われる部内一斉巡教で巡教員が調査・回収をしていましたが、今年より1月の「教会長年頭会議」（今年中止）で配布し、3月のこの研修会で直属教会ごとに取りまとめて提出いただく形になりました。これも、直属教会の育成責任者・担当者が、部内教会子弟の現状を把握するためです。

梶川部員は年代別の年間行事予定を示しながら、「子弟の丹精といっても、対象となる人を把握しなければ、声をかけることもできません。名簿整理、確認は丹精の第一歩目です。上級である直属教会長夫妻、後継者夫妻も、すべての子弟の状況を把握し、丹精に心と力を注いでいただきたい」と名簿更新の意義を説明しました。

●自主的・主体的な学びを

「道の後継者の集いⅡ」のプロモーションビデオ

を視聴した後、今川聖一部員が集いの概要と申し込み方法について説明しました。

今回開催する集いⅡの特徴は、日常生活や教会活動に役立つこと、人を喜ばせ笑顔にできるような知識・技術を身につけることがテーマとなっており、それらを自主的・主体的に学べるよう「選択講座制」を採用したところにあります。また、お道から心を離さないために、信仰する若者同士が親しくなることで「信仰に対する自信」や「仲間と過ごす喜び」を感じることが、若い世代にとっては大切です。一緒に道を通る仲間の存在は「この信仰は間違いのないんだ」という自信を持つことにつながります。今川部員は、「素晴らしい講習会にしますので、一人でも多くの若者に教会から声をかけていただきたい」と、受講生への後押し

をお願いしました。

次に、山下吉生・芦山都分教会長が、子弟育成の実例として、自教会での取り組みや自身の体験を発表。子供も含めて全員でおつとめを勤めること、子供と向き合うとき「この年齢の時の自分はこう思っていたのか。親はどんなアドバイスをくれたか」を思い返すことなど、子弟を導く際に気を付けている点について話されました。

最後に加世田洋育成部次長が挨拶。「教会長子弟一人ひとりの育成を、周りの大人たちが時々確認し、現在の姿を把握しながら声をかけてほしい。そして既存の育成行事や各会の活動、今秋の道の後継者の集いに参加していただき、年祭活動へ向けての丹精の場にしていただきたい」とお願いしました。

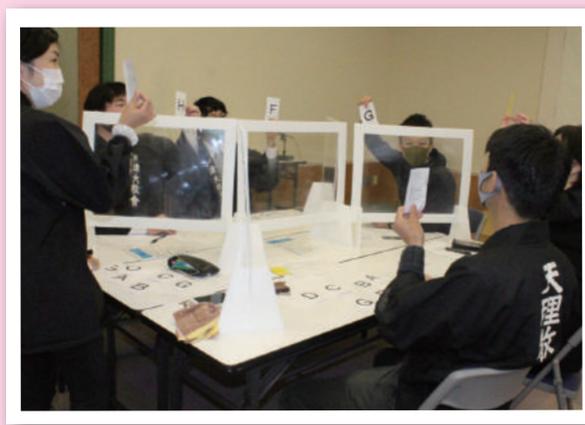
半年後の開催を見据えて —道の後継者の集いⅡ スタッフ研修会実施

4月17日、大教会を会場に「道の後継者の集いⅡ スタッフ研修会」を実施。密を避けるために2回に分けたところ、今回は17名が参加しました。

最初のあいさつで山田道弘育成部長は、「われわれスタッフがしっかりとスキルを高め、参加してくださる方に喜んでいただこう」と参加者に語りかけました。

午前中は、若手のスタッフに対しグループワークの進め方について研修。ねりあいなどの司会が未経験のメンバーもいることから、実際にグループワークを行いながら、スムーズな進め方を学びました。自己紹介から始まり、一人ひとりの違いを認識し認めることを、さまざまなゲームなどを通して実践しました。

午後からは、選択講座についての説明と実習。今回は、特におつとめの地方における発声の方法や鳴物との合わせ方など、おつとめを指導する際のポイントについて学びました。



飛沫防止用の透明板を立ててグループワーク。



発声練習での一コマ。背骨をしっかり伸ばして。

代表の少年会員がおつとめを

少年会おつとめの集い



少年会芦津団は、3月28日に「おつとめの集い」を開催しました。

昨年は少年会総会を中止せざるをえず、今年も従来通りの開催は難しい状況がありました。芦津団では「何かできることからさせてもらおう」との思いから、密にならないよう、代表の少年会員でおつとめを勤めました。

この日、大教会周辺の教会長子弟を中心に、代表として集まった少年会員は52名。

おつとめ衣を着た子供たちは座りづとめ、よろづよ八首を勇んで勤め、これまでに練習を重ねた成果を親神様、教祖にご覧いただきました。

式典では、最初に大教会長様からのお話。当たり前の有り難さを、子供たちの身近な出来事とさらに自身の体験を交え、分かりやすく話され、「感謝の言葉を素直に出せる人になってもらいたい」と優しくお話してくださいました。

続いて、今春中学を卒業し、少年会員を終える37名の門出生の代表が、教祖の御前で「門出の言葉」を奏上し、これまでお導きいただいた御礼と、立派なようぼくに成人することをお誓いしました。そして、お供え作品展の大教会長賞・団長賞受賞

者の発表の後、おつとめカードを提出した少年会員の抽選会がありました。少年会の「ちかい」を全員で唱和。少年会の歌を斉唱しました。

午後は昼食会。テーブルに仕切りを立て、感染対策をとった上で、手作りのお弁当を頂きました。おつとめに参加した少年会員たちは、ゲームや抽選会などで楽しい時間を過ごし、大教会に久しぶりに子供たちの笑い声が響きました。



HAPPY な気持ちでおちばへ！

学生会 HAPPY徒歩団参

芦津学生会は、3月27日に徒歩団参を実施しました。コロナ禍のため、さまざまな学生会行事が中止や変更を余儀なくされていますが、学生会では、「こんな中でも、できる活動はないか」と思案を重ねる中で、大阪から



おちばへの徒歩団参を企画。「歩くなら、しんどいではなく、明るく楽しく、ハッピーな気持ちで歩こう」との思いから、「ハッピー徒歩団参」と名付けました。

3月27日は、春の日差しがまぶしい、快晴のお日和でした。学生たちは大教会でおつとめを勤めた後、バスで移動し、十三峠登り口からスタート。7人ずつの班に分かれ、お揃いのタオルを持って、おちばを目指しました。



十三峠展望台までは舗装されていない上りの急勾配、平群スポーツセンターまでは舗装道路のゆるやかな下り坂。学生たちは久しぶりに顔を合わせた仲間と楽しく語りながら歩きました。

スポーツセンターからはバスで天理市内まで移動し、昼食休憩の後、再び徒歩でおちばへ向けて出発。南礼拝場前で大教会長様が出迎えてくださる中、合計約10kmの道のりを全員が無事に完歩しました。

この日参加したのは15歳から22歳までの学



生層28名。「足は痛いけど、楽しく歩けた」「学生会の友達と久しぶりに楽しい時間が過ごせた」などの感想が聞かれました。

徒歩団参を企画・運営した総務の八木淳成さんは「これをきっかけに、共に歩む仲間がたくさんできれば嬉しい。これからも新しい活動をやっていきたい」と今後の意気込みを語りました。



青年会芦津分会 オンラインセミナー

聞くことがおたすけの第一歩

3月29日、青年会芦津分会（井筒敏成委員長）は、「おたすけ最前線 聞くことの大切さを学ぶ」と題して、第2回オンラインセミナーを開講。青年会員12名が受講しました。

講師は、駅前などで「悩み相談受けます」の看板を掲げ、道行く方の悩みなどを無料で聞く、「聞き屋」を5年前より行っている、香川部属・鞍手分教会後継者の南原善行氏。

南原氏は、まず聞き屋を始めたきっかけや、おたすけに繋がったエピソードを話した後、人の話を聞く上で心がけていること



オンライン会議アプリ「ZOOM」を利用して受講

などを話されました。最後に参加者に対して、「現在の大変な世の中だからこそ、私たちようぼくは、夢とロマンを持って身近な人の悩みを聞き、共に陽気ぐらしに向かって歩ませていただきたい」と力強く述べられました。その後、参加者との質疑応答がありました。

青年会では、今後もオンラインを利用した活動を計画しています。

道の後継者の集いⅡ

☆ 1泊2日で詰所開催

☆ 参加申込は各所属教会から

☆ 申込締切は6月23日

☆ 集いの詳細はQRコードよりアクセス！



教祖がおつけくださった道を歩もう

道の後継者の集いⅡ

第1次 9月18～19日
第2次 10月2～3日
第3次 11月27～28日

全体講義 「心の向きを変えよう」
講師：金山元春先生（上尾教区司牧長、芦津道後継者、芦津道後継者）

選択講座① 基本教理を守ぼう
●かじもの・かりもの ●十金の守護 ●へつのはこり

選択講座② 楽しみながらスキルを身につけよう
●あてはきて包丁研ぎ ●読んでおきたいキヤンパニング ●経典マジック＆アート・ゲーム
●誰でも簡単スワッグ ●日かみやろごの経験値 ●経典スピードメニュー
●悩みを解決！ストレス解消＆マリアージュ ●2019入門講座

選択講座③ おつとめを学ぼう
●打ちもの ●釜 ●小籠 ●女将物 ●地巾 ●おつとめ衣の着付け

芦津大教会

①教会長子弟育成者研修会 ②春の各会の活動

あしっ 育成だより 17

立教184年4月26日発行
編集 / 天理教芦津大教会育成部